

# 横須賀市震度マップ

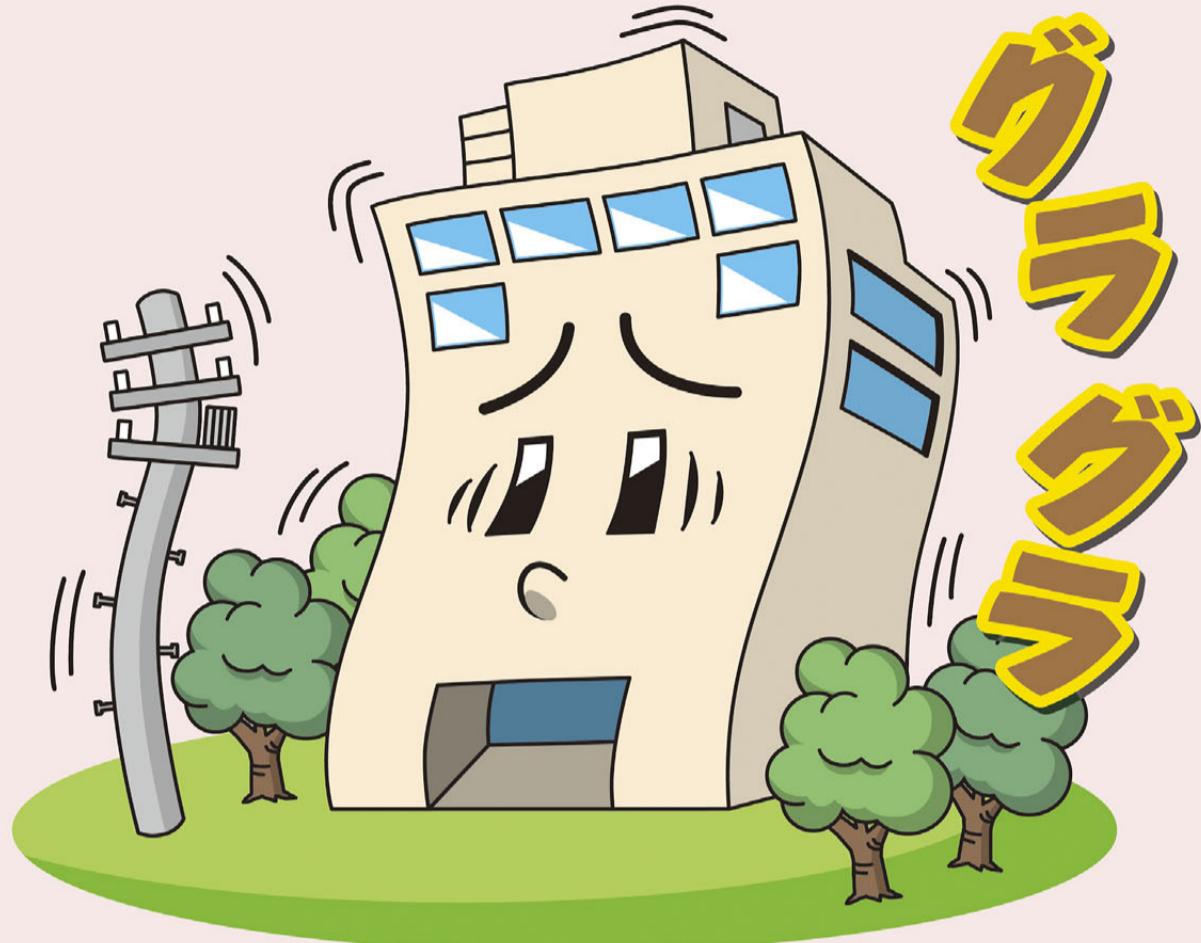
「震度マップ」とは、想定した地震が発生した場合に「横須賀市内の震度がどのくらいになるのか？」の予測をした図面です。揺れの大きさを色別にして、市内各地域の震度予測を示しています。

横須賀市では、平成27年3月に神奈川県が公表した「神奈川県地震被害想定調査」のデータを基にこの震度マップを作成しました。

この震度マップは、あくまでも「予測」であり、実際に地震が起きた場合に、このとおりの震度になることを示すものではなく、「○○町○丁目○番地の震度がいくつなのか？」ということを調べるためにの図面でもありません。

最新の地震研究の結果を基に、「横須賀市内で、これだけの揺れとなる地震が発生する可能性があること」を皆さんに知っていただくための図面であり、皆さんには防災への意識を高め、日頃の備えをしていくきっかけとして、活用していただきたいと考えています。

この震度マップは、横須賀市に甚大な影響を及ぼすと予測されている三浦半島断層群の地震と大正型関東地震の震度分布図を記載しました。



この震度マップに記載の地震のほか、県内で発生が予測される地震の震度については、神奈川県が公開している「e-かなマップ」をご覧ください。  
URL <http://www2.wagamachi-guide.com/pref-kanagawa/>

横須賀市

平成28年

## 地震への備え

～「地震が起こった時の非常用持ち出し品」と「避難生活のための非常用備蓄品」は違う～

### ◆非常用持ち出し品（避難する時に持ち出すもの）

いざという時に素早く避難できるように、非常用持ち出し品をリュックに入れておきましょう。避難先で困らないように、個人やご家庭の事情に合わせて、用意しておくことが重要です。ただし、避難時に持ち出したいものを欲張りすぎると『重くて持ち出せない』ということもあるので注意しましょう。リュックの重量目安は個人やご家庭の事情に合わせて持ち運べる分量（10～15kgが目安）を準備しましょう。



避難が必要となった際は、できるだけ身軽に避難できるようにするため、持ち出し品は避難に必要な物品や貴重品など最小限にしましょう。

- 貴重品（現金、通帳など）
- 飲料水（携帯用飲料水）
- 非常食（乾パン、アルファ化米、缶詰など）
- 衣類（上着、下着、履物、タオルなど）
- 携帯トイレ（1人7日分程度）
- 懐中電灯、ラジオ
- 生活用品（ライター、ろうそく、ビニール袋、軍手、電池など）
- 家庭の事情に合わせて準備するもの（は乳瓶、おむつ、生理用品、持病薬、ペット用品など）



### ◆非常用備蓄品（自宅等での避難生活に備えて家に備えておくもの）

地震が起きた直後は、水、食料、日常生活用品などを入手困難になります。救援活動が受け入れられるまでの間の水や食料などを各家庭で3日分以上は備えておきましょう。

- 非常食品（レトルト食品、栄養補助食品、菓子類など）
- 飲料水・生活用水（1人1日3リットルが目安）
- 給水用品（ポリ容器、バケツなど）
- 卓上コンロ・カセットボンベ
- 携帯トイレ（1人7日分程度）
- 生活用品（ビニールシート、トイレットペーパーなど）
- 家庭の事情に合わせて準備するもの（は乳瓶、おむつ、生理用品、持病薬、ペット用品など）



### ◆通電火災を防ごう！

大地震が発生すると電気の供給がストップします。

数時間から数日後に電気の供給が再開されますが、その際に起こる火災を「通電火災」と言います。

通電火災を防ぐには、避難時の対策が重要です。

◎避難する際には、必ずブレーカーを遮断し、ガスの元栓も忘れずに閉めましょう。

※玄関等には、避難先を明記した張り紙を貼付しましょう。



横須賀市市民安全部危機管理課

TEL 046-822-9708 FAX 046-827-3151  
E-mail ps-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

## 大正型関東地震によって想定される震度

### 《大正型関東地震とは》

神奈川県沖の相模トラフ沿いでは、フィリピン海プレートが、関東地方がのっている陸のプレートの下に沈み込んでおり、両プレートの境界付近が破壊することにより、過去にマグニチュード8程度の海溝型地震が繰り返し発生しています。この相模トラフを震源域とする地震で、1923年の大正関東地震の再来型が大正型関東地震です。

想定される地震の規模はマグニチュード8.2で、県内では、一部の地域を除きほぼ全域で震度6強以上の揺れが想定されています。本市でも全域で震度6強以上の揺れが想定され、一部の地域では震度7の揺れが想定されています。

